

## ■吹田市における自殺の状況

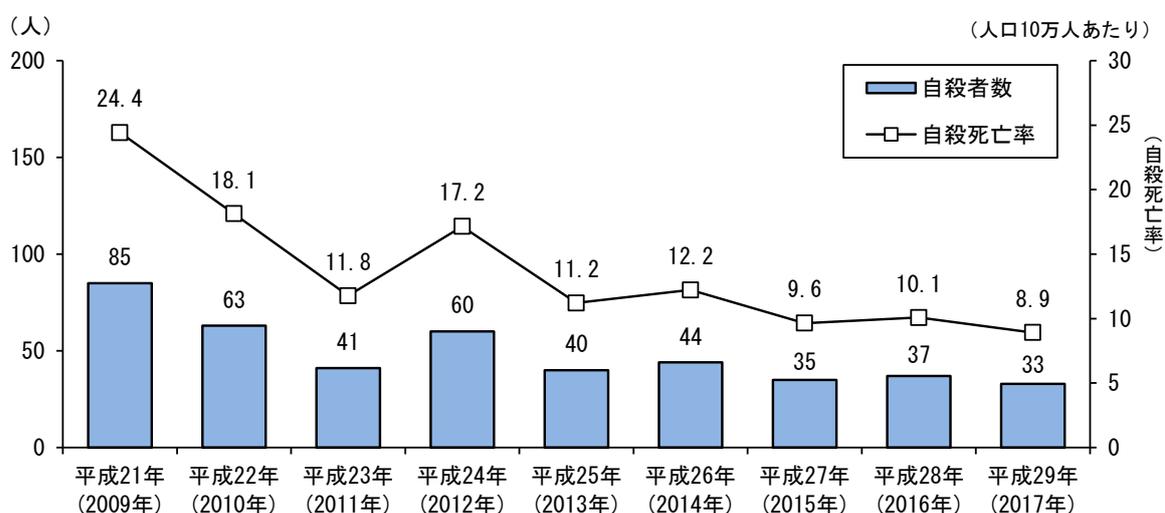
※活用する統計データは内閣府・厚生労働省が公表している「地域における自殺の基礎資料」（自殺日・住居地ベース）です。

### 1. 自殺者数・自殺死亡率の推移

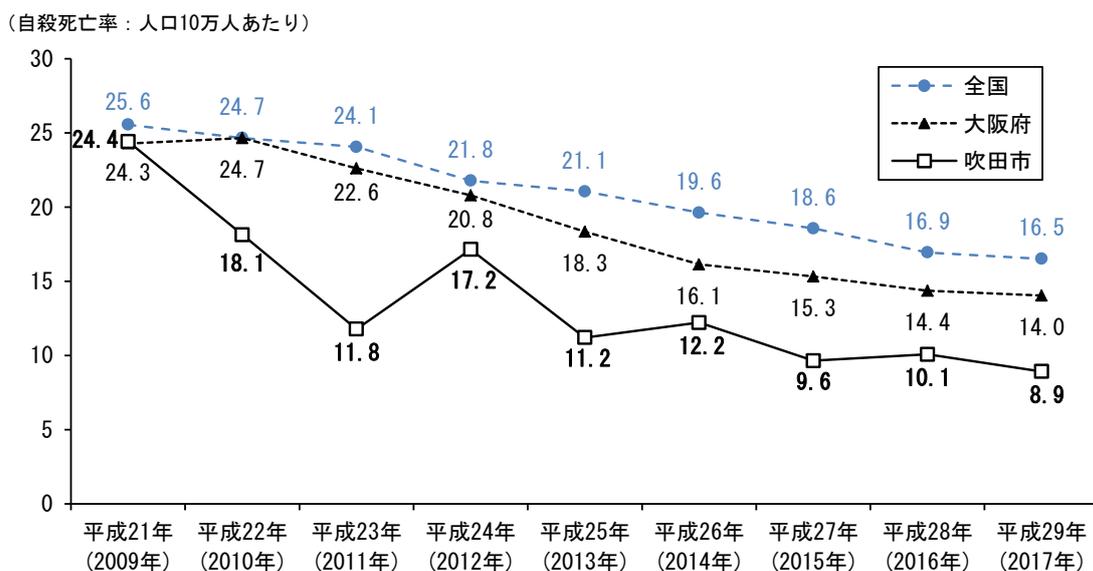
本市の年間自殺者数は減少傾向にあり、平成29年(2017年)は33人となっています。

人口10万人あたりの自殺死亡者数を表す自殺死亡率をみると、平成29年(2017年)は8.9で、平成21年(2009年)では全国・大阪府と同程度でしたが、その後減少し、平成29年(2017年)には全国(16.5)、大阪府(14.0)よりも低くなっています。

【自殺者数と自殺率の推移】



【自殺死亡率の推移 (全国・大阪府との比較)】

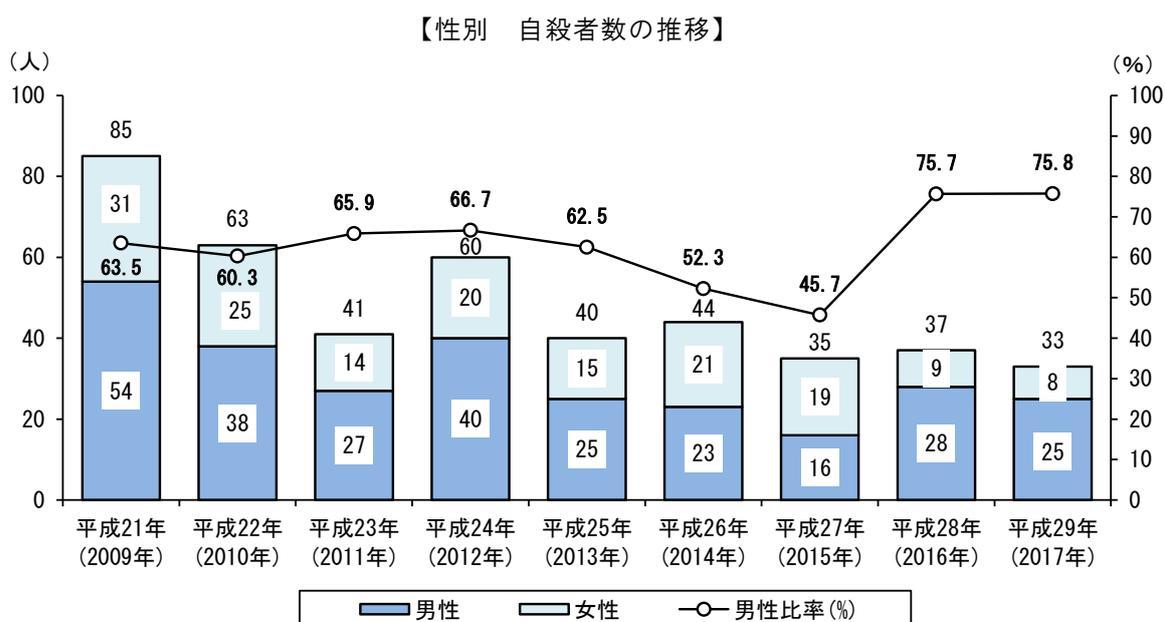


## 2. 性別自殺者数

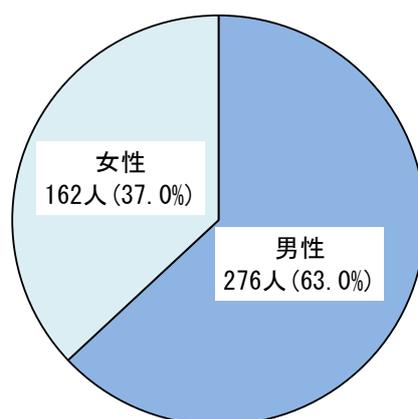
自殺者数を性別で見ると、平成27年(2015年)以外の年は男性のほうが多くなっています。

平成21(2009)～29年(2017年)における自殺者数の合計で見ると、男性が女性の約1.7倍となっており、男性が6割強を占めています。

全国・大阪府と比較すると、男性の割合が全国・大阪府に比べて低くなっています。



【性別 自殺者数 (平成21(2009)～29年(2017年)の合計)】



【性別 構成割合 (全国・大阪府との比較) (平成21(2009)～29年(2017年)の合計)】

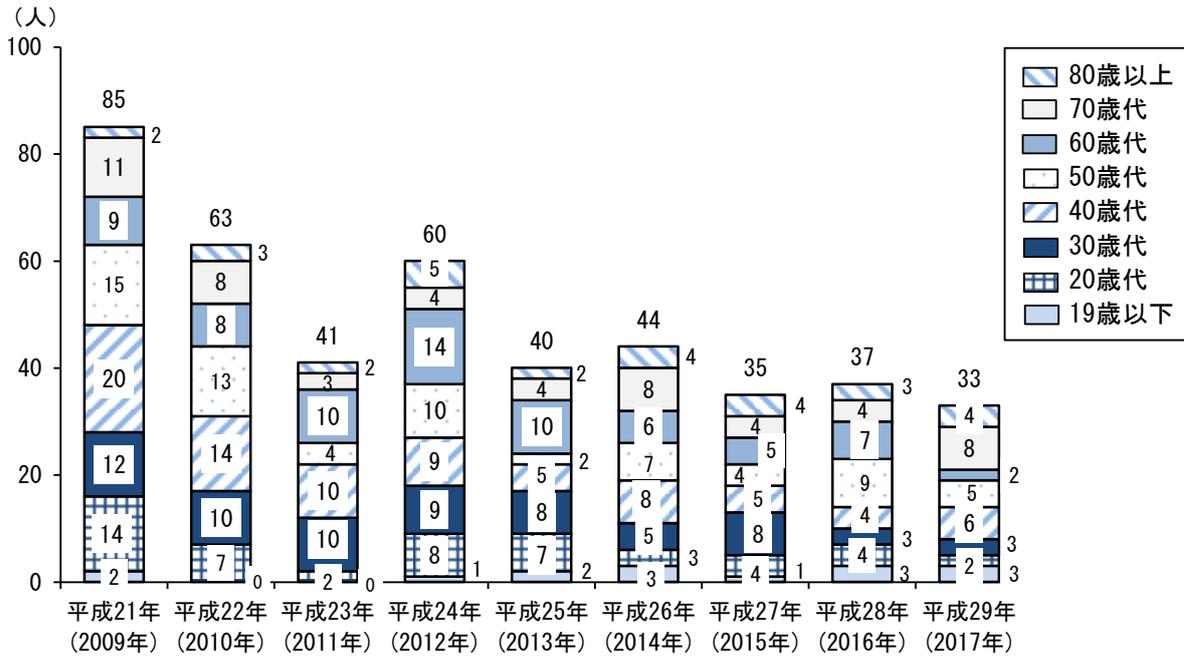
	吹田市	大阪府	全国
男性	63.0%	66.9%	69.3%
女性	37.0%	33.1%	30.7%

### 3. 年代別自殺者数

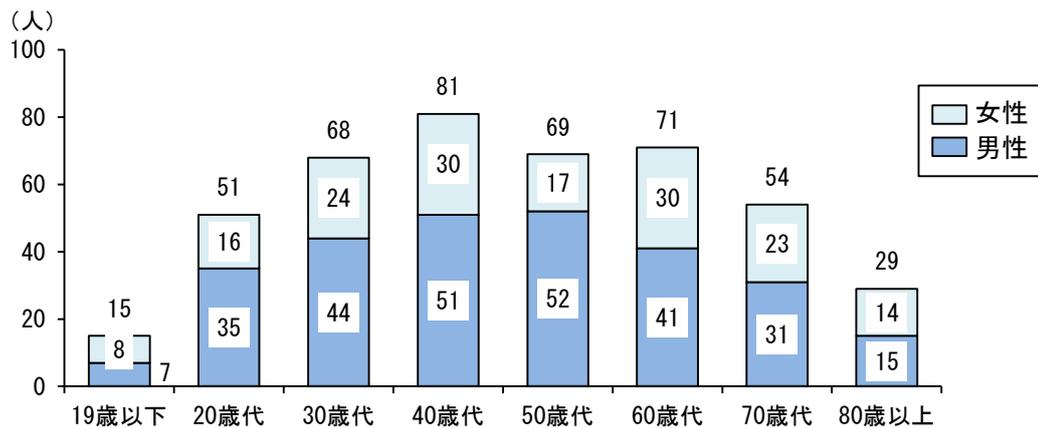
年代別の自殺者数は、平成29年（2017年）では70歳代が8人で最も多くなっています。  
平成21（2009）～29年（2017年）における自殺者数の合計では、40歳代が81人で最も多く、次いで60歳代が71人となっています。

性別でみると、20歳代以上で男性のほうが多く、40～50歳代では50人を超えています。  
女性は40歳代と60歳代で30人と多くなっています。

【年代別 自殺者数の推移】



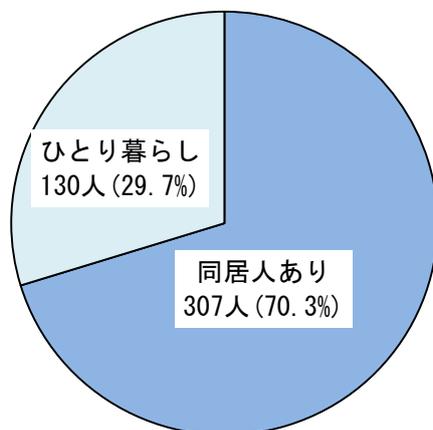
【性年代別 自殺者数（平成21（2009）～29年（2017年）の合計）】



## 4. 同居の有無

平成21(2009)～29年(2017年)における自殺者の同居の有無をみると、本市では約7割が同居人がいる世帯であり、ひとり暮らし世帯は約3割となっています。

【同居の有無（平成21(2009)～29年(2017年)の合計）】

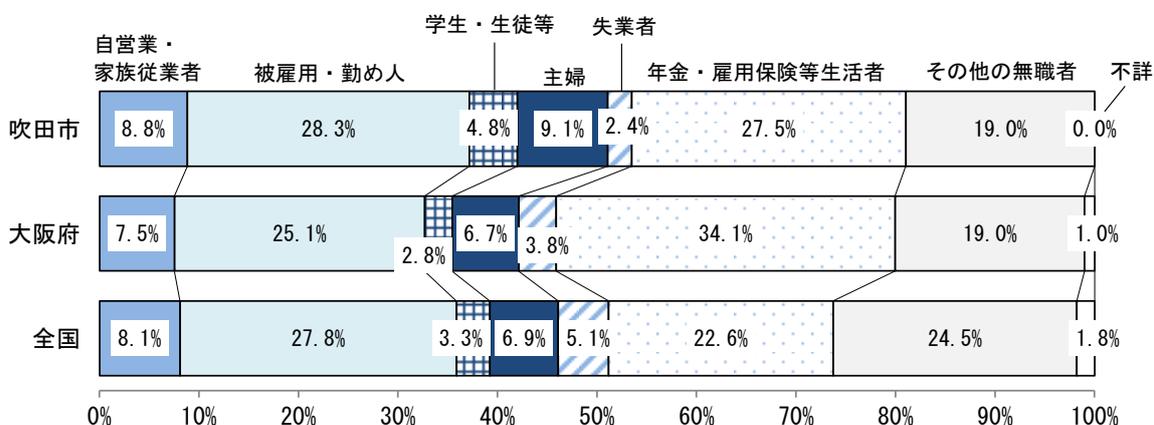


## 5. 職業別自殺者数

平成21(2009)～29年(2017年)における自殺者の職業別構成比をみると、本市では「被雇用・勤め人」が28.3%で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が27.5%となっています。無職の自殺者が全体の6割を占めています。

全国・大阪府と比較すると、「自営業・家族従業者」、「被雇用・勤め人」、「学生・生徒等」、「主婦」の割合が全国・大阪府に比べて高くなっています。

【職業別自殺者数の構成比（全国・大阪府との比較）（平成21(2009)～29年(2017年)の合計）】



※その他無職者…利子・配当・家賃等生活者、浮浪者、その他の無職者

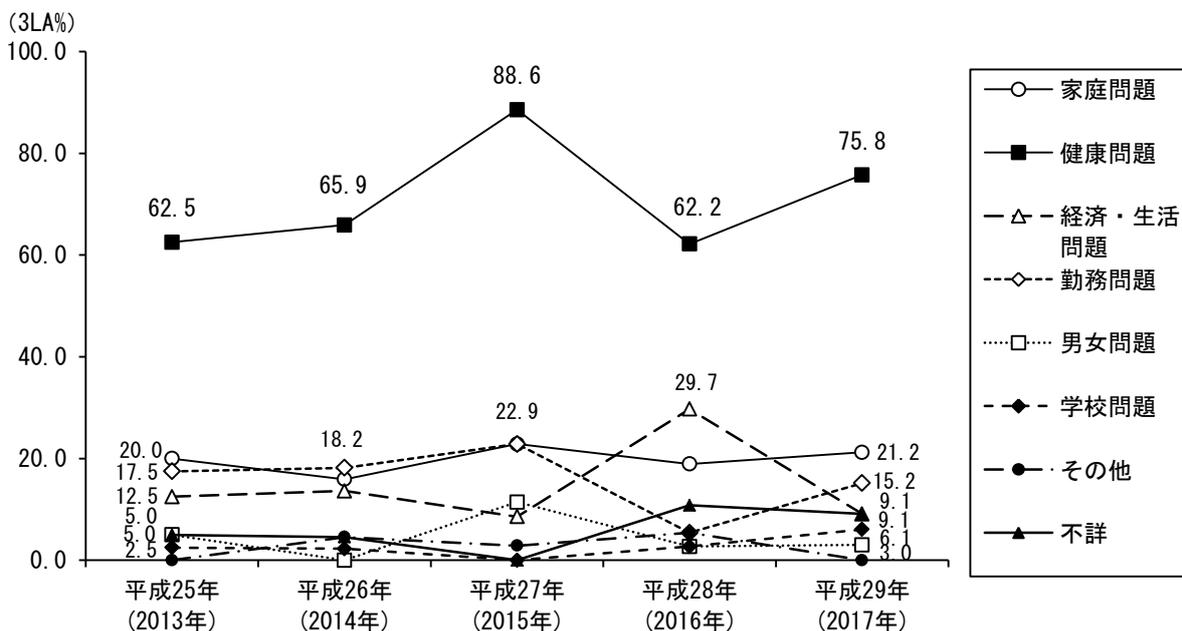
## 6. 原因・動機別自殺者数

原因・動機別自殺者数の構成比の推移をみると、いずれも「健康問題」の割合が高くなっています。

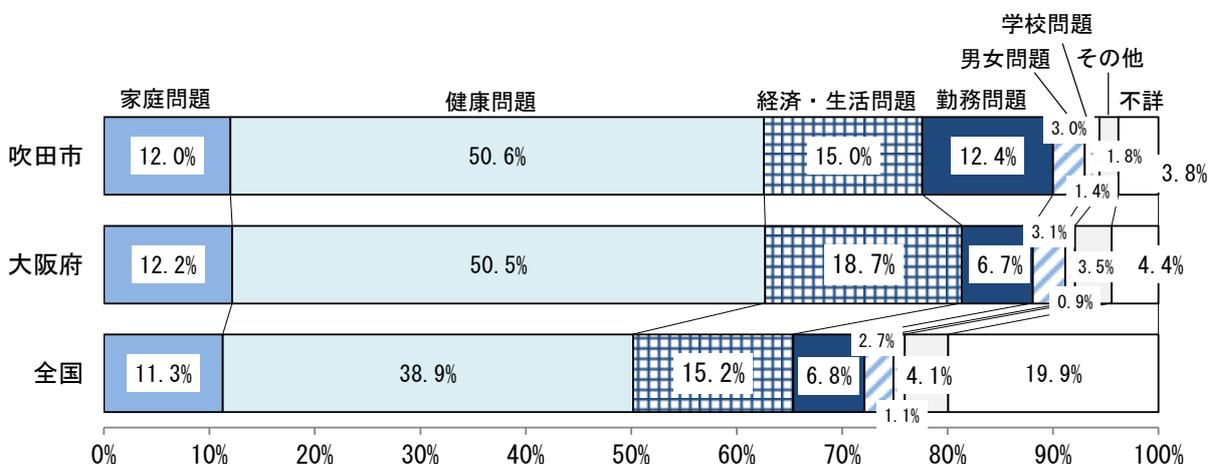
平成21(2009)～29年(2017年)における自殺者の原因・動機をみると、本市では「健康問題」が50.6%で最も多く、次いで「経済・生活問題」が15.0%、「勤務問題」が12.4%となっています。

全国・大阪府と比較すると、「健康問題」、「勤務問題」は全国・大阪府より高く、「経済・生活問題」は全国・大阪府より低くなっています。

【原因・動機別自殺者数の構成比の推移】



【原因・動機別自殺者数の構成比（全国・大阪府との比較）  
（平成21(2009)～29年(2017年)の合計）】

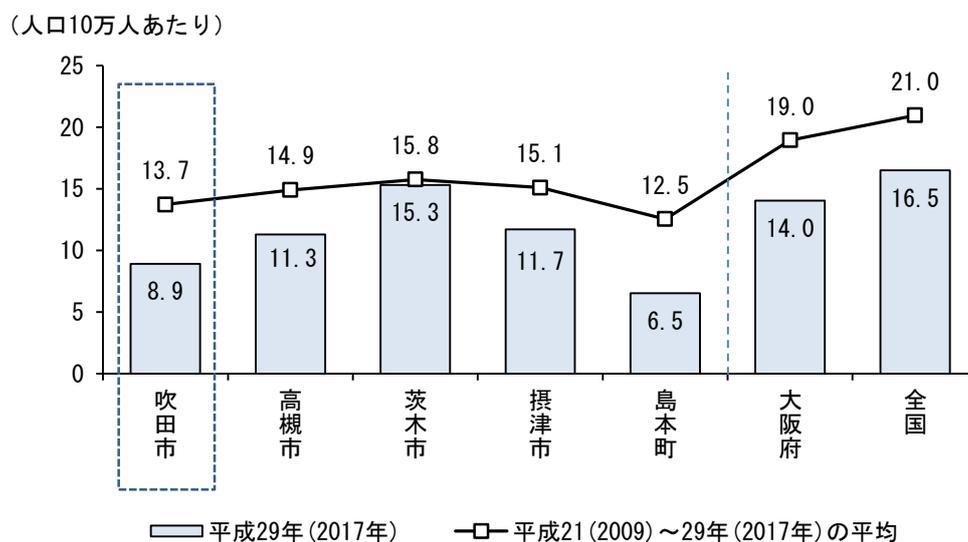


※延べ件数を100%とし、割合を算出した。

## 7. 国・府・近隣市町との比較

自殺死亡率を全国・大阪府・三島地域内の市町と比較すると、平成29年(2017年)は近隣市町と比較すると島本町に次いで低く、全国・大阪府と比較しても低くなっています。平成21(2009)～29年(2017年)の平均でも同様の傾向となっています。

【自殺死亡率の比較（全国・大阪府・近隣市との比較）】



## 8. 地域自殺実態プロファイルにおける吹田市の自殺の状況

※活用する統計データは自殺総合対策推進センターによる「地域自殺実態プロファイル」  
（自殺日・住居地ベース、平成24年(2012年)～平成28年(2016年)合計）

### (1) 地域の自殺の特徴

自殺者数は、平成24(2012)～28年(2016年)合計で216人(男性132人、女性84人)となっています。なかでも、「女性・60歳以上・無職者・同居」が22人(10.2%)で最も多くなっています。

自殺死亡率はいずれも全国と比べて低くなっています。

【地域の主な自殺の特徴】

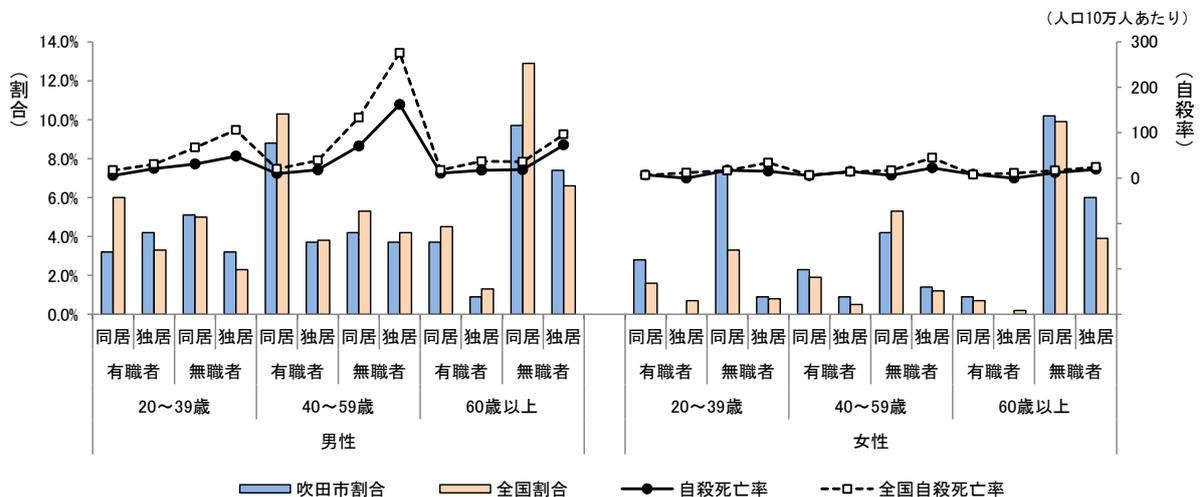
上位5区分		自殺者数 5年計	割合	自殺 死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位	女性・60歳以上・無職・同居	22人	10.2%	12.0	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
2位	男性・60歳以上・無職・同居	21人	9.7%	18.5	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
3位	男性・40～59歳・有職・同居	19人	8.8%	9.8	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位	男性・60歳以上・無職・独居	16人	7.4%	73.0	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5位	女性・20～39歳・無職・同居	16人	7.4%	17.2	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺

順位は自殺者数の多さに基づき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

\* 自殺死亡率の母数(人口)は平成27年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

\*\*「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013(ライフリンク)を参考にした。

【地域の自殺の概要】



## (2) 勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳をみると、本市では「自営業・家族従業者」が21人(29.6%)、「被雇用者・勤め人」が50人(70.4%)となっています。

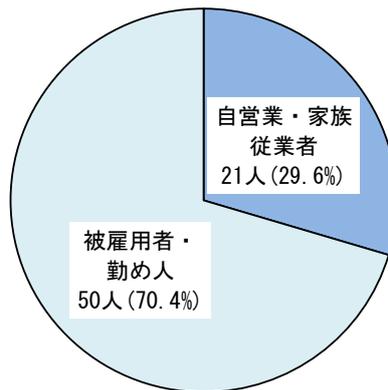
国勢調査における就業者の常住地・従業地をみると、吹田市内常住就業者の59.0%(97,523人)が他市区町村で従業しています。また、吹田市内に従業している56.0%(74,264人)が他市区町村に常住しています。

経済センサスにおける吹田市の総事業所数は12,139事業所で、そのうち、従業者が19人以下の事業所が87%、49人以下の事業所が96%を占めています。

【有職者の自殺の内訳】

職 業	自殺者数(人)	割合	全国割合
自営業・家族従業者	21	29.6%	21.4%
被雇用者・勤め人	50	70.4%	78.6%
合 計	71	100.0%	100.0%

【有職者の自殺の内訳】



※性・年齢・同居の有無の不詳を除く

【就業者の常住地・従業地】

(単位：人)

常住地	従業地		
	吹田市	他市町村	不明・不詳
吹田市	58,395	97,523	9,238
他市町村	74,264	—	—

資料：国勢調査(平成27年)

【事業所規模別事業所・従業者数】

(単位：事業所、人)

	総数	1~4人	5~9人	10~19人	20~29人	30~49人	50~99人	100人以上	出向・派遣従業者のみ
事業所数	12,139	6,346	2,530	1,658	600	486	296	167	56
従業者数	151,795	13,764	16,608	22,330	14,315	18,266	20,222	46,290	—

資料：平成26年経済センサスー基礎調査

### (3) 高齢者関連資料

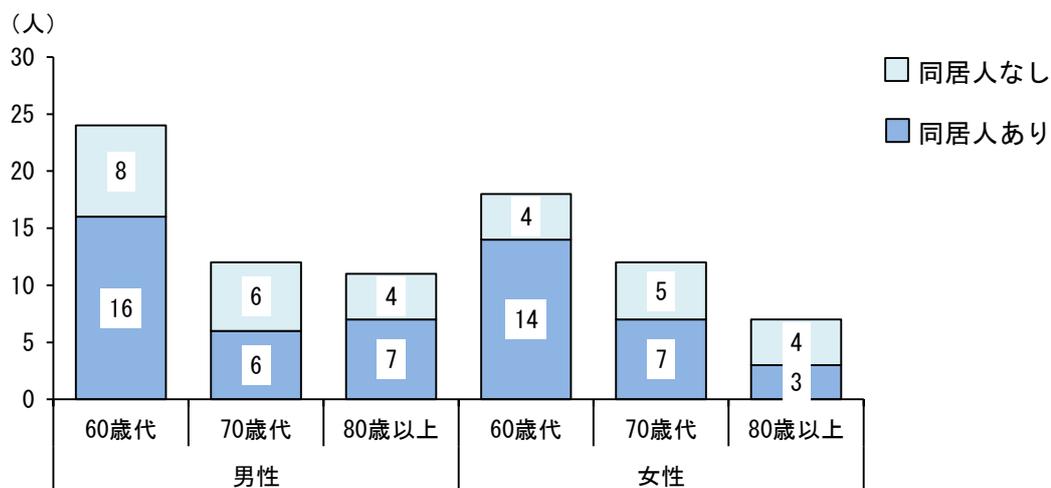
高齢者の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示しています。

60歳以上の高齢者の自殺の状況を見ると、男女とも60歳代の「同居人あり」の人が最も多くなっています。

【60歳以上の自殺の内訳】

性別	年齢階級	同居人の有無（人）		同居人の有無（割合）		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	16	8	19.0%	9.5%	18.1%	10.7%
	70歳代	6	6	7.1%	7.1%	15.2%	6.0%
	80歳以上	7	4	8.3%	4.8%	10.0%	3.3%
女性	60歳代	14	4	16.7%	4.8%	10.0%	3.3%
	70歳代	7	5	8.3%	6.0%	9.1%	3.7%
	80歳以上	3	4	3.6%	4.8%	7.4%	3.2%
合 計		84		100%		100%	

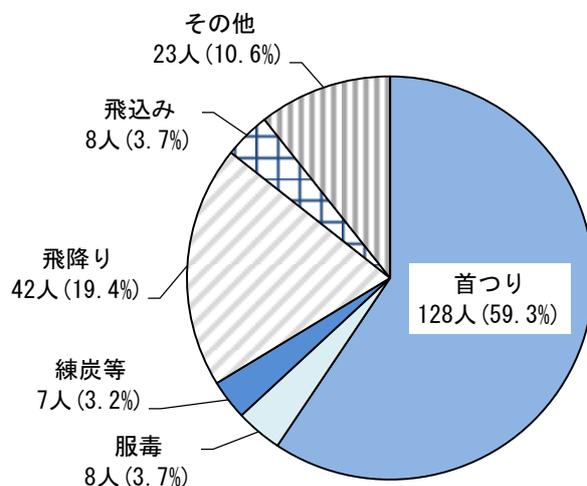
【60歳以上の自殺の内訳】



#### (4) 自殺手段関連資料

自殺者数を自殺手段別にみると、「首つり」が128人(59.3%)で最も多く、次いで「飛降り」が42人(19.4%)となっています。

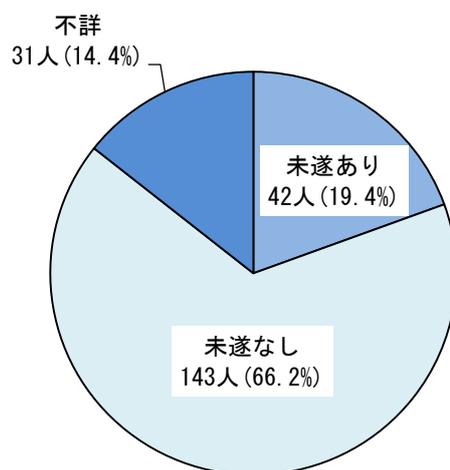
【手段別の自殺者数】



#### (5) 自殺者における未遂歴の有無

自殺者における未遂歴の有無をみると、「未遂あり」が42人(19.4%)、「未遂なし」が143人(66.2%)となっています。

【自殺者における未遂歴の有無】



## (6) 地域の自殺の特性の評価

【地域の自殺の特性の評価】

	吹田市 指標	全市区町村 の中央値	中央値と の比較		吹田市 指標	全市区町村 の中央値	中央値と の比較
総数 <sup>1)</sup>	12.0	20.0	—	男性 <sup>1)</sup>	15.3	28.5	—
20歳未満 <sup>1)</sup>	2.9	0.0	★	女性 <sup>1)</sup>	9.0	11.5	—
20歳代 <sup>1)</sup>	13.6	16.2	—	若年者(20~39歳) <sup>1)</sup>	13.2	18.7	—
30歳代 <sup>1)</sup>	12.9	18.7	—	高齢者(70歳以上) <sup>1)</sup>	15.3	25.9	—
40歳代 <sup>1)</sup>	10.5	22.0	—	勤務・経営 <sup>2)</sup>	9.0	17.0	—
50歳代 <sup>1)</sup>	15.8	25.5	—	無職者・失業者 <sup>2)</sup>	19.7	38.8	—
60歳代 <sup>1)</sup>	18.1	22.6	—	ハイリスク地 <sup>3)</sup>	94%/-14	102%	—
70歳代 <sup>1)</sup>	13.6	24.3	—	自殺手段 <sup>4)</sup>	41%	31%	☆
80歳以上 <sup>1)</sup>	18.2	25.1	—				

1) 自殺統計に基づく自殺死亡率(人口10万対)。

2) 特別集計に基づく20~59歳を対象とした自殺死亡率(人口10万対)。

3) 自殺統計に基づく発見地÷住居地(%)とその差(人)。

4) 自殺統計もしくは特別集計に基づく首つり以外の自殺の割合(%)。首つり以外の割合が多いと高い。

※ 「勤務・経営」は20~59歳有職者の自殺死亡率、「無職者・失業者」は20~59歳無職者の自殺死亡率。

※ 「中央値との比較」の「★」は、全国順位が上位20~40%、「☆」は全国順位が上位10~20%かつ自殺者数20人以上(全国市区町村1,986地域での順位に基づく。)